

実施内容：火山災害調査（災害状況の把握）の検証

1. 実施内容

火山災害については、事務局で指定した検証位置からの溶岩ドームの動態観測と溶岩ドームおよびガリの画像・映像や地形データ等の取得を行う。また、事務局で指定した検証範囲での土砂サンプリング、雨滴センサ、対空標識の投下等を行う。

2. 現場検証の条件

今回の検証の条件は以下のとおりです。

- ・立ち入り禁止区域は火口から4 kmとし、立ち入り禁止区域外より調査を行う。
- ・調査は、火口付近の状況とガリの状況を把握したい。
- ・立ち入り禁止区域には基準点はない。
- ・火山灰の性状を把握するため、火山灰のサンプルがほしい。
- ・現地の地盤状況を把握したい。

3. 現場検証方法

現場検証方法については、以下の内容で行う。

a) 地形状況把握

調査準備

火口調査（溶岩ドーム状況確認） 4500m往復 2回

火口周辺調査（ガリの調査） 2000m往復 2回

技術特性の検証

検証終了 片付け

B) サンプリング

調査準備

サンプリング（火山灰の取得） 500m往復 2回

技術特性の検証

検証終了 片付け

C) 現地盤調査

調査準備

走行確認

通信確認 2000m

現地盤調査（スウェーデン式サウンディング）

技術特性の検証

検証終了 片付け

b) 検証成果（提出物）

地形状況把握

- ・溶岩ドームの画像・静止画
- ・ガリの状況 静止画、オルソ画像等

サンプリング

- ・取得サンプル（火山灰）

現地盤調査

- ・スウェーデン式サウンディングデータ

c) 検証項目

- 1) 迅速性
- 2) 把握可能な情報の量・質
- 3) 安全性
- 4) その他（技術の特性について）

4. 検証地概要

検証地概要図



（出典：国土交通省 九州地方整備局 雲仙復興事務所 ホームページ
<http://www.qsr.mlit.go.jp/unzen/sabo/seibi/seibi.html>）